



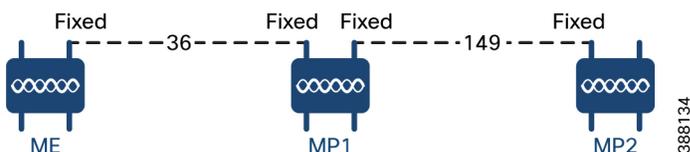
# ポイントツーポイントリレートポロジの設定と検証

- [ポイントツーポイントリレートポロジの設定と検証 \(1 ページ\)](#)
- [CLIによるポイントツーポイントリレートポロジの設定 \(1 ページ\)](#)
- [CLIによるポイントツーポイントリレートポロジの検証 \(2 ページ\)](#)

## ポイントツーポイントリレートポロジの設定と検証

次の図には、ポイントツーポイントリレートポロジを導入するための単一のデバイス (MP1) 上に 2 つの無線インターフェイスが示されています。

図 1:ポイントツーポイントリレートポロジ



ポイントツーポイントリレートポロジを設定するには、以下のシナリオに従います。

1. メッシュエンド (ME)、チャンネル 36 に MP1、デフォルトチャンネル 149 に MP2 を設定します。
2. ステップ 1 の設定から続行します。
3. メッシュポイント (MP2) の 2 番目のスロットインターフェイスを再度有効にして 30 秒待つと、単一のデバイス上の 2 つの無線インターフェイスによるポイントツーポイントリレートポロジが導入されます。

## CLIによるポイントツーポイントリレートポロジの設定

ポイントツーポイントリレートポロジを設定するには、次の CLI コマンドを使用します。

1. 無線インターフェイス番号 <1 または 2> でワイヤレスデバイスを設定します。

```
Device# configure dot11Radio <interface>
```

2. ワイヤレスインターフェイスの管理状態を有効モードまたは無効モードに設定します。

```
Device# configure dot11Radio <interface> > {enable | disable}
```

3. 指定したインターフェイスの動作モードを設定します (fixed、Fluidity、またはFluidmax)

```
Device# configure dot11Radio <interface> > [enable | disable] mode { fluidity | fixed  
| fluidmax }
```

4. 指定したインターフェイスの動作チャンネルと、有効な範囲 (1 ~ 256) の動作チャンネル ID を設定します

```
Device# configure dot11Radio <interface> > [enable | disable] mode [fluidity | fixed  
| fluidmax] channel <channel id>
```

5. この設定を終了するには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device (configure dot11Radio <interface> > {enable | disable} mode {fluidity | fixed  
| fluidmax} channel <channel id>) #end
```

例：

```
Device#configure dot11Radio <2> {enable | disable} mode {fluidity} channel <36>
```

ポイントツーポイントリレー トポロジの設定例：

メッシュエンド (ME) の設定

```
Device#configure dot11Radio 2 enable  
Device#configure dot11Radio 2 mode fixed  
Device#configure dot11Radio 2 channel 36
```

メッシュポイント (MP1) の設定

```
Device#configure fluidity id infrastructure  
Device#configure dot11Radio 1 enable  
Device#configure dot11Radio 1 mode fixed  
Device#configure dot11Radio 1 channel 36  
Device#configure dot11Radio 2 enable  
Device#configure dot11Radio 2 mode fixed  
Device#configure dot11Radio 2 channel 149
```

MP2 の設定

```
Device#configure fluidity id infrastructure  
Device#configure dot11Radio 1 enable  
Device#configure dot11Radio 1 mode fixed  
Device#configure dot11Radio 1 channel 149
```

## CLIによるポイントツーポイントリレー トポロジの検証

ポイントツーポイントリレー トポロジの設定を検証するには、次の show コマンドを使用します。

```
Device# show dot11Radio <interface> config
```

メッシュエンド (ME) の統計

```
Device#show dot11Radio 2 config
Interface : enabled
Mode : fixed infrastructure
Frequency : 5180 MHz
Channel : 36
.....
Passphrase : Cisco
AES encryption : enabled
AES key-control : enabled
```

#### メッシュポイント (MP1) の統計

```
Device# show dot11Radio 1 config
Interface : enabled
Mode : fixed infrastructure
Frequency : 5180 MHz
Channel : 36
.....
Passphrase : Cisco
AES encryption : enabled
AES key-control : enabled
Device# show dot11Radio 2 config
Interface : enabled
Mode : fixed infrastructure
Frequency : 5745 MHz
Channel : 149
.....
Passphrase : Cisco
AES encryption : enabled
AES key-control : enabled
```

#### MP2 の統計

```
Device# show dot11Radio 1 config
Interface : enabled
Mode : fixed infrastructure
Frequency : 5745 MHz
Channel : 149
.....
Passphrase : Cisco
AES encryption : enabled
```



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。